

令和元年度 島本町農地意向アンケート調査報告書

平成27年の都市農業振興基本法の施行により、都市農地の税制面の見直し等が行われておりますが、その一方で、農業後継者不足や農業従事者の高齢化など、農業経営を取り巻く環境はより一層厳しい状況となっています。

島本町農業委員会では、農家の方から所有農地のご意向等をお伺いし、今後の町の農業施策及び個々の農地利用のマッチング等の参考にさせていただきたいと考え、本アンケートを個別訪問調査により実施しました。

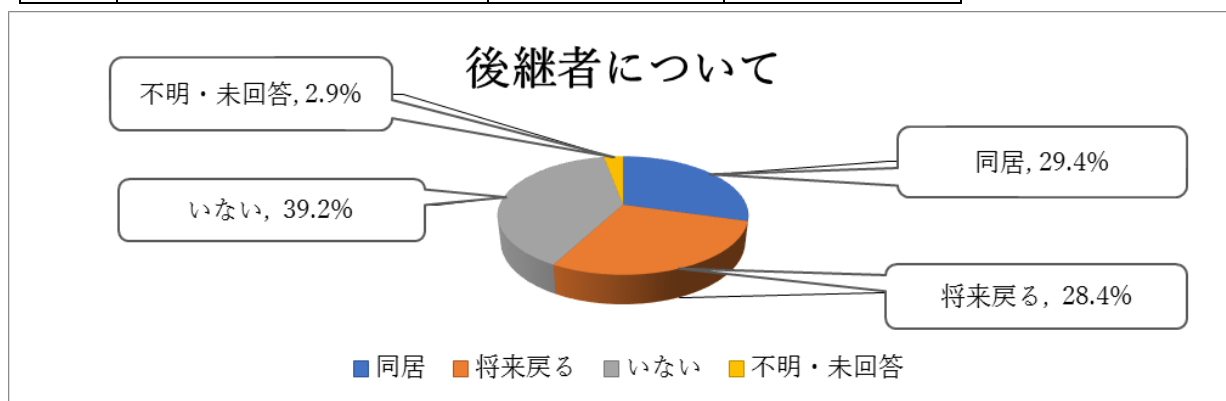
1. 調査方法 農業委員による個別訪問調査（回答は郵送）
2. 調査対象者 島本町内の農地所有者（162名）
3. 実施期間 令和元年11月～令和2年1月
4. 回答数 102名
5. 回答率 約63%

◎注意事項

複数回答が可能な質問があるため、回答の合計が調査数を上回ることがあります。

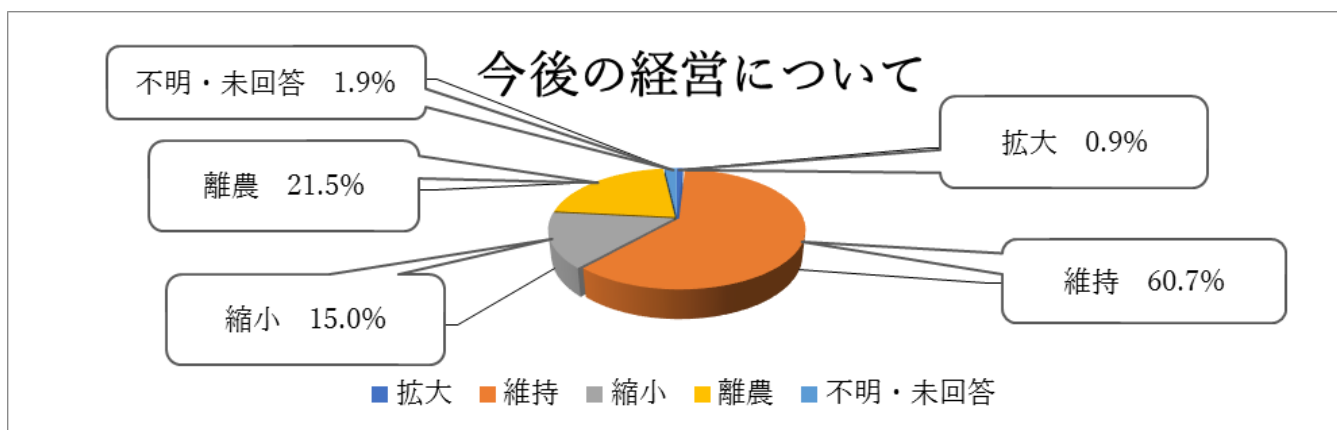
問1 あなたの家には農業後継者がおられますか。下記から選んで○印をつけてください。

Q1	後継者について	件数	割合
1	同居	30	29.4%
2	将来戻る	29	28.4%
3	いない	40	39.2%
4	不明・未回答	3	2.9%
	計	102	100%



問2 あなたの、今後（向こう5年程度）の農業経営についてお聞きいたします。どのようにしたいとお考えですか。※複数回答があったため、回答の合計が調査数を上回っています。

Q2	今後の経営について	件数	割合
1	拡大	1	0.9%
2	維持	65	60.7%
3	縮小	16	15.0%
4	離農	23	21.5%
5	不明・未回答	2	1.9%
	計	107	100.0%



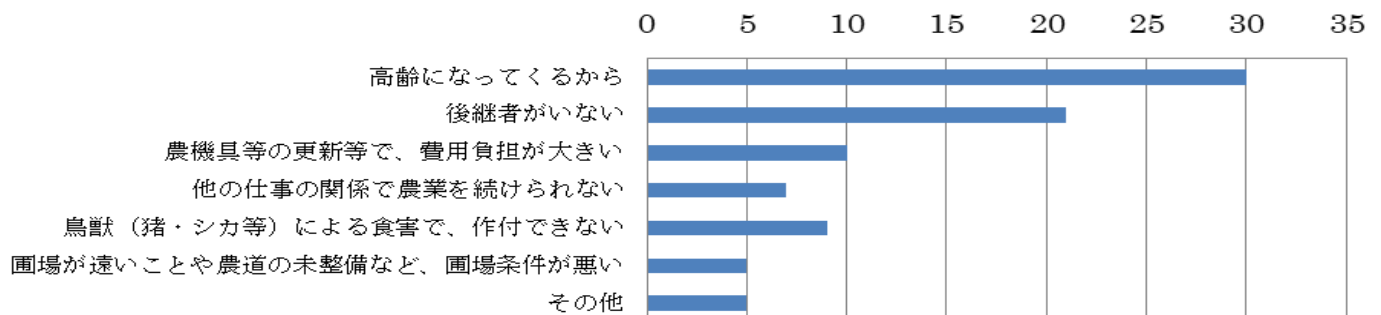
I 質問2で①規模拡大を選んだ方は、お答えください。

Q2-1	規模拡大手法	全体	件数	割合
1	農地を買いたい	1	1	100%
2	農地を借りたい		0	0%
3	農作業受託面積を増やしたい		0	0%
4	この中にあてはまる理由はない		0	0%

Ⅱ 質問2で③規模縮小、または④離農を選んだ理由を教えてください。（複数回答可）

Q2-2	規模縮小・離農の理由	全体	件数	割合
1	高齢になってくるから	39	30	76.9%
2	後継者がいない		21	53.8%
3	農機具等の更新等で、費用負担が大きい		10	25.6%
4	他の仕事の関係で農業を続けられない		7	17.9%
5	鳥獣（猪・シカ等）による食害で、作付できない		9	23.1%
6	圃場が遠いことや農道の未整備など、圃場条件が悪い		5	12.8%
7	その他		5	12.8%

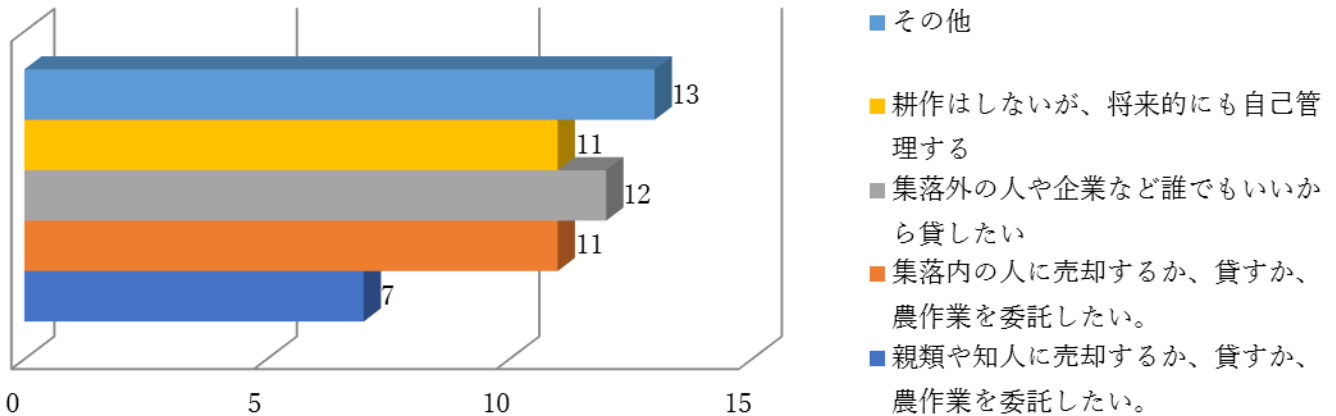
規模縮小・離農の理由



Ⅲ 質問2で③規模縮小、または④離農を選んだ方にお聞きします。農地をどうなさろうとしているかお聞かせください。（複数回答可）

Q2-3	規模縮小・離農の方法	全体	件数	割合
1	親類や知人に売却するか、貸すか、農作業を委託したい。	39	7	17.9%
2	集落内の人に売却するか、貸すか、農作業を委託したい。		11	28.2%
3	集落外の人や企業など誰でもいいから貸したい		12	30.8%
4	耕作はしないが、将来的にも自己管理する		11	28.2%
5	その他		13	33.3%

規模縮小、離農の方法



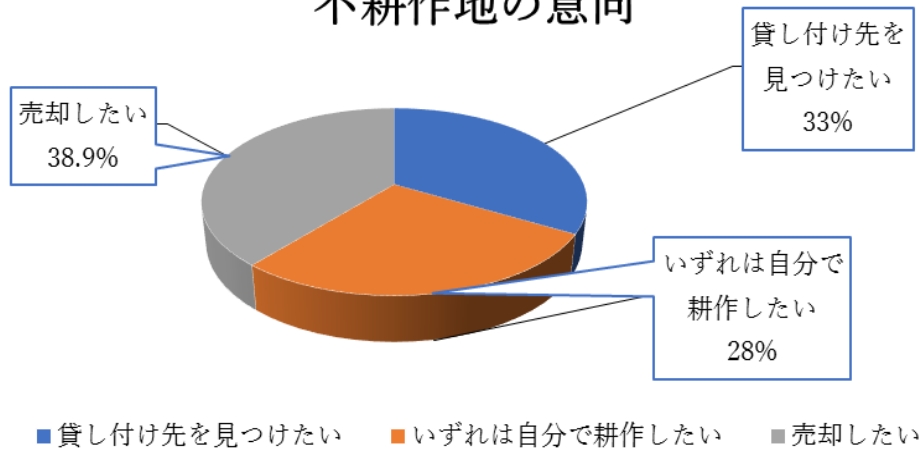
3. 現在、あなたの所有農地に、耕作を行っていない農地（草刈り程度の管理又は放置している農地）がありますか。

Q3	不耕作地の有無	件数	割合
1	有	18	17.6%
2	無	71	69.6%
3	不明・未回答	13	12.7%
	計	102	100%

あるという方はその農地をどうなさろうとしているかお聞かせください。

Q3-1	不耕作地の意向	件数	割合
1	貸し付け先を見つけたい	6	33.3%
2	いずれは自分で耕作したい	5	27.8%
3	売却したい	7	38.9%
	計	18	100%

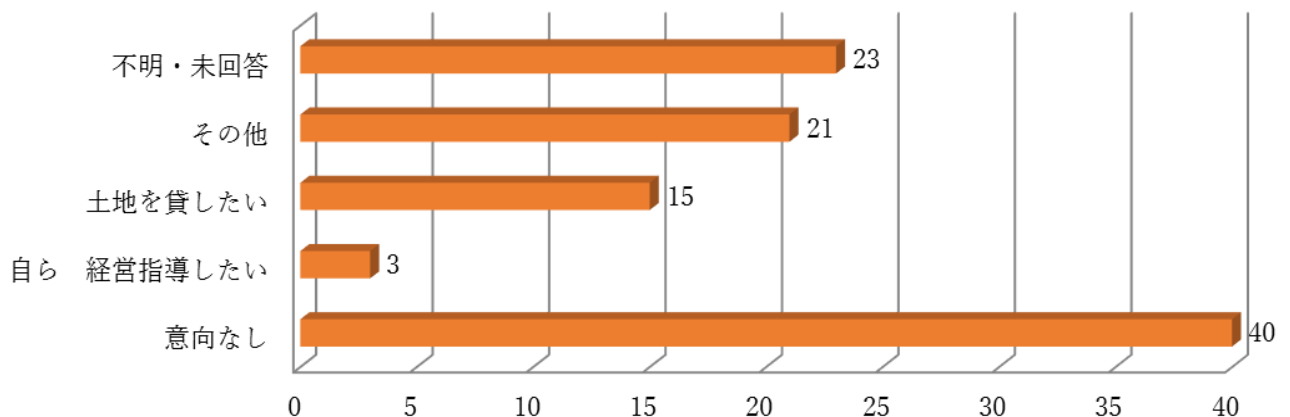
不耕作地の意向



4. 市民農園（ファミリー農園）の意向についてお聞きいたします。（すでに開園している場合につきましても今後のご意向をお聞かせください。）

Q4	市民農園の意向	件数	割合
1	意向なし	40	39.2%
2	自ら経営指導したい	3	2.9%
3	土地を貸したい	15	14.7%
4	その他	21	20.6%
5	不明・未回答	23	22.5%
	計	102	100%

市民農園の意向



農地意向について、皆様からいただいた主な意見

「閉園・売却したい」とする意見

- 早く市街化してほしい→駐車場等を経営したい
- 10年以内をめどに閉園・売却したい
- 市民農園地も売れるなら売却したい
- 市民農園地も売却したい
- 現在も市民農園（町のファミリー農園）をしていますが、誰か買ってくれる人があれば売却したい。売却先がない場合は、今後も市民農園をしたい。

「農地を活用したい」とする意見

- 代表で土地を貸し、農園として活用したい

「その他」意見

- 大沢は遠いため、貸し先があるかどうか
- 他人が入ると自由度がなくなる。まずは線引きの見直しから始めてください。
- 農園利用者のマナーが悪い（水利関係及び車）

総括

後継者がいないと答えた方が全体の約4割を占めており、また経営の縮小、離農を考えている方が、全体の約37%に上ります。このままでは、数年後に多くの農地が耕作されなくなることが懸念されます。

こうした状況の中、農地の集約化や新規就農者等の担い手対策の強化を図ることが喫緊の課題ですが、農地の委託や貸し出し等、農地の集約化・新規就農者等について肯定的に考えている農業者等の割合が高いことが判明しました。

今回の調査結果を参考に、農地の貸し借りをを行う大阪府みどり公社の農地中間管理事業等とのより一層の連携強化等、今後、農地の集約化や新規就農者等の担い手確保・育成、また、市民農園を開設したい方への支援等に関して対策を講じていく必要があります。

担当

島本町農業委員会事務局

(島本町都市創造部にぎわい創造課)